

②0 医療法人 ゆうの森 (愛媛県松山市)

～ 経営理念の具現化で患者満足が職員満足を生む！ ～

「地域から必要とされる医療法人」

特・筆・す・べ・き・経・営・の・ポ・イ・ン・ト

- 患者満足が職員満足を生む、患者本位の理念共有を徹底して患者と家族に寄り添う医療を実現！
- 多職種の職員によるチーム支援と情報共有の仕組みで職員が疲弊しない、職員尊重の姿勢を貫く！
- 職員が疲弊しない、働きやすい制度や仕組みにより職員のワークライフバランスを積極的に推進！

患者満足が職員満足を生む、
患者本位・職員尊重の理念を共有！

同院は平成12年、四国初の在宅医療専門の診療所として開業、訪問診療・看護・介護はもとより、へき地医療にも取り組む。従来「治し、施す」医療から、患者とその家族が安心して在宅療養できるように患者本位で「支え、寄り添う」医療を目指す。「患者さんにとって“楽なように、やりたいように、後悔しないように”という姿勢が大切」と話す理事長、同院では患者本位の経営方針を大切にしている。

開設以来、組織のベクトルを合わせなければ患者本位の医療は実現できないと、理念の共有を重視する。個々の職員一人が理解し具現化できるようにと、より具体的に落とし込んだ行動指針にまとめた「在宅医療で大切なこと」を小冊子にして職員全員に配布、朝礼や研修時での3分間スピーチで血肉化するなど、多くの機会ですべての理念の浸透を図る。

また、入社直後や定期的に行われる理念研修を通じて経営トップと現場の医師や職員が対話する機会も多く、年に1回の創業記念日に全職員参加で開催するワークショップでは理事長自ら組織全体への理念浸透を図っている。

多職種の職員によるチーム支援により
医師や職員が疲弊しないシステム！

同院では多職種の職員によるチーム支援を特徴としている。経営理念の中にもある「24時間の365日の対応」を実現するため、医師、看護師、介護士、栄養士、事務など多職種の職員によるチーム支援により患者や家族の在宅療養生活を多方向から支える。また、チーム支援においては患者情報の共有や方針の理解が不可欠で、電子カルテの導入や各部署の打ち合わせや会議ではクラウドを活用している。このような仕組みを通して職員一人ひとりの生産性を向上させる仕組みで医師や職員が疲弊しないチーム医療を実践している。

「24時間対応で質の高い在宅医療を実現するには、理念(患者本位)×システム(ノウハウ)×(理念に共感する)人財で成り立つ」と話す理事長の言葉のとおり、患者への手厚い対応の確保と医師やスタッフを疲弊させないために、医師一人当たりの患者数を抑えるなど、収益よりも患者本位・職員尊重の経営理念を大切にすることが貫かれており、職員やその家族、そして地域から必要とされ、なくてはならない存在となっている。

また、赤字により閉鎖が決定した県南部のへき地診療所を譲り受けて独自に運営する。特徴であるチーム支援の仕組みを生かした都市部との一体的に運営する新しいスタイルと、在宅医療の導入によって診療所の再生、そして黒字化に成功、ここでも地域にはなくてはならない存在として地域医療を支えている。

女性職員が働きやすい制度が充実、
ワークライフバランスを実現！

同院では子供を持つ女性職員が多く、短時間勤務制度や育児休業制度など、仕事と家庭の両立を応援する取り組みも多い。中でも育児休業については既に制度を利用した経験のある先輩職員が多いということもあり、“当たり前”、“お互い様”の精神が医師や職員相互にあり、単に制度があるというだけでなく、制度が形骸化することなく、現場での活用が促進される風土が醸成されている。また、短時間の有給休暇の取得や夏季休暇を取得する際には1週間以上の長期取得を推奨するなど、組織的に職員のワークライフバランスを推進する。このような取り組みも、組織が一丸となるチーム支援の仕組みが大きく後押ししている。



表彰式当日の受賞の様子



創立記念日のワークショップの様子



フィロソフィー「心の目指すところ」

会社概要

- ・法人名: 医療法人 ゆうの森
- ・代表者: 永井 康徳 理事長
- ・所在地: 愛媛県松山市別府町444-1
- ・設立年: 2000年
- ・事業内容: 在宅医療に多職種・多方向から関わるクリニック
- ・資本金: 5,000千円
- ・従業員数: 103名(応募書類記載当時)
- ・ホームページ: <http://www.tampopo-clinic.com>